

平成27年度 第2回尾張東部教科用図書採択地区協議会（中学校部会）議事録

- 日 時 平成27年7月8日（水） 9:50～15:00
○場 所 豊明市文化会館 ギャラリー
○出席者 協議会委員 35名 各種目研究部長 12名

1 開会

出席のお礼と開会宣言

2 尾張東部教科用図書採択地区協議会長挨拶

本日の会議は、教科書採択の公正確保のため、非公開で行うことを確認する。ここに至るまでの経過報告。
5月8日（金）と5月20日（水）に本協議会の研究員打合せ会を開催し、その後、各教科部会で教科用図書について研究。本日、その研究成果を報告するとともに、委員の協議により、「本地区の生徒にとって一番ふさわしい教科用図書」を選定していきたい。

なお、見本本も用意。資料としてご覧いただきたい。

3 協議方法について

（1）資料の確認

- ・愛知県教育委員会採択基準
- ・尾張東部教科用図書採択地区協議会選定資料

（2）協議進行の仕方の説明

- ・研究部長より教科用図書選定資料をもとに各教科用図書の説明
- ・研究部長に質疑
- ・研究部長退席後に協議・採択

4 各教科部長報告及び協議

（1）国語

ア 研究部長の説明

東京書籍、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書の5社について研究し、報告。

イ 質疑

- ・ 社会生活との関連、あるいは日常生活との関連をどのように図られているか教えてほしい。
→ どの教科書も身近な話題を取り上げて、社会生活や科学的事象、日常生活との関連をよく図っている。
- ・ 古典の作品の時代的・文化的背景の関連づけについて、どのような変化があったのか具体的に教えてほしい。
→ 各社とも古典には、力を入れていた。大事なのは、現代とどのように関連付けていくかということである。光村図書は、3年生の「奥の細道」ではこの教材のあとに新しい現代版の教材が組み込まれ、その教材を読むと、奥の細道を現代にあてはめて考えることができるようになっていた。

- ・ 「あいちの教育に関してのアクションプラン」に掲げられた「あいちの教育の基本理念」を踏まえていると思うが、特にそのような特色があったら教えてほしい。
→ 生命尊重あるいは人間愛あるいは郷土愛といったことを重視した教材が多かった。
- ・ 今回の教科書は学習手引き的な部分や資料編が充実している教科書が多かったが、作品の分量が不足しているという意見はなかったか。
→ 三省堂と教育出版は100ページ以上にわたって、資料編・文法が巻末にまとめられていた関係で本編が圧縮されている。

ウ 協議・採択

- ・ 光村図書は、「あいちの教育アクションプラン」・こころの教育・いのちの尊重など、道徳教育との関連がある教材を取り上げている点と豊かな心やコミュニケーション能力の育成を図り、幅広いジャンルから教材を取り上げている。また、日常生活や社会生活との関連を図っている点がすばらしい。
- ・ 教師の視点ではなくて、生徒たち自身が学んでいく授業形態をとるのにあたって、光村図書は生徒が主体的・能動的に学習に取り組めるように工夫されている。光村図書を選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「光村図書」を選定する教科書として決定。

(2) 書写

ア 研究部長の説明

東京書籍、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書の5社について研究し、報告。

イ 質疑

- ・ 実生活、実社会で生きて働く力が身につくような配慮や内容となっているか教えてほしい。
→ 全社ともそのようになっていた。特に教育出版では、生徒の主体的な学びを重視する編集となっていた。
- ・ 現在、コンピュータが多くの方面で利用され、文字文化が軽視されがちではないかと思うときもある。そこで、社会生活や学習活動に役立てるような工夫がされているか教えてほしい。
→ 多くの出版社は巻末資料という形でまとめて示してあったが、巻末だけでなく随所に資料を提示する出版社もあった。
- ・ 「あいちの教育の基本理念」に照らし合わせたときの関連が図られていたのかどうか教えてほしい。
→ 関連が弱い出版社は1社あったが、それ以外の出版社については関連が図られていた。

ウ 協議・採択

- ・ ポイントとなる生徒の主体的な学び、基礎・基本の定着、またその応用で系統的な配置がしっかりと考慮されている点で、教育出版がよい。
- ・ 基礎的・基本的な知識が丁寧に学習でき、文字文化に対しても親しめるよう考慮されていること、さらに主体的に社会を形成しようとする態度を養うように工夫されている教育出版の教科書を選定するのがよい。
- ・ 協議の結果、全員一致で「教育出版」を選定する教科書として決定。

(3) 社会

ア 研究部長の説明

地理的分野は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の4社について研究し、報告。

歴史的分野は、東京書籍、教育出版、清水書院、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社、学び舎の8社について研究し、報告。ただし、学び舎については、十分な資料がなく、審議できなかった。

公民的分野については、東京書籍、教育出版、清水書院、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の7社について研究し、報告。

イ 質疑

- ・ 言語活動の充実という観点についてと2点目は地理的分野の「身近な地域を調べよう」という単元があり、この愛日地区の内容を扱っている教科書もある。地域教材の活用という観点で、各教科書について分析をした評価について教えてほしい。
 - 習得した知識を活用して、社会の課題を主体的、協働的に考えることができるアクティブラーニングの考えをしっかりと取り入れているのが東京書籍と日本文教出版だった。もう1点の「身近な地域を調べる」については、東京書籍は静岡市、教育出版は名古屋市、帝国書院は東京都練馬区、日本文教出版は小牧市。この地区の生徒にとって小牧市は非常に身近な地域である。東京書籍は静岡市を取り上げているが、日本文教出版に比べると調査のテーマの決め方、野外観察、聞き取りや資料による調査の方法、そしてまとめと発表の仕方などが非常に詳細であった。
- ・ 既習内容を踏まえた授業づくりという点とか今日的な国際社会の様々な問題との関連という観点から、各社の比較や3分野の関連がどの程度図られているのか教えてほしい。
 - 東京書籍は、地理的分野と公民的分野では各章の扉で用語や写真、歴史的分野では既習事項を振り返る年表と42人の人物や文化財を振り返るようにして、小学校・中学校の学習をつなぎ、小中7年間で公民的資質の基礎を養うように工夫している。日本文教出版は、脚注欄に「連携コーナー」を設けて、小学校で学んだ人物や文化的遺産、小学校社会科における地理的分野、公民的分野に関わる内容を再確認できるようにしている。
- ・ 「あいちの教育のアクションプランⅡ」の中でもユネスコスクールの持続可能な社会の実現に向けてということで、教科書でも取り上げられているが、その対応が各教科書どのようになっているかということをお願い。
 - 持続可能な社会については、各教科書ともにしっかりと書かれ、生徒が学びやすい配慮がされていた。
- ・ 文部科学省から通知文が出され、わが国の「領土に関する教育」や「自然災害における関係諸機関の役割等に関する教育の一層の充実を図るように」という内容が書かれていた。各教科書は、その通知を踏まえて対応しているかを教えてほしい。
 - 「領土」に関しては、地理的分野において、4社とも北方領土、竹島の領土問題、尖閣諸島について詳しく説明している。歴史的分野では、7社とも取り上げられていた。公民的分野でも、7社ともに取り上げられている。
 - 「自然災害」に関しては、地理的分野では4社ともに生徒の防災・安全の意識を高めるように工夫がされている。歴史的分野では、7社とも震災のことを中心に取り上げている。公民的分野では、東京書籍、帝国書院、日本文教出版が詳しく取り上げている。
- ・ 現代社会をとらえる見方や考え方「対立と合意」「効率と公正」について、学習指導要領には「日常生活と関連付けさせながら具体的な事例を通して見方や考え方が身につくことが必要」とあるが、各教科書はその趣旨にあった事例になっているか教えてほしい。
 - 公民的分野において、東京書籍では学校でのトラブルとマンションの駐輪場の問題、教育出版ではマン

ションの駐車場のルールづくり、清水出版では体育館の使用、帝国書院ではマンションの騒音問題、日本文教出版ではスーパーのレジと遊園地の乗り物、育鵬社は学校の文化祭、自由社では学級でのディベートといった身近な例を通して「効率と公正」について理解できるようにしている。

- ・ 教科書によってはインデックス的に綴じた状態で開くことができるように工夫がされていて、背表紙の反対側とか下の方にあるが、これの評価について教えてほしい。2点目は、東京書籍の「公民にアクセス」「地理にアクセス」「歴史にアクセス」ですべて2ページを開いてしっかり解説をしている。その他の教科書の「アクセス」については、小見出し的なものとか吹き出し程度から半ページ程度で扱いが違ふ。特に「公民にアクセス」「地理にアクセス」「歴史にアクセス」で扱いが相当違っていることに対して研究員の皆さんからどのような意見があったのかということと、1ページ2ページ割いて資料を補完している。これを巻末ではなくて本文の後とか途中で割いて書かれていることに対しての評価を教えてほしい。
 - 教科書のインデックス的な部分については、東京書籍の色分けの仕方が、教師・生徒とも一番見やすいと判断した。2点目については、東京書籍と日本文教出版のものが非常に細かくて使いやすい。
- ・ 各分野、各教科書において特別支援教育に関して各分野で教科書が適切に配慮されているか教えてほしい。
 - 今回の教科書は、地図とかグラフはカラーバリアフリーに配慮してあり、ゴシック体のふりがなを使用するなどして、色覚に特性のある生徒や小さい文字が読みにくい生徒でも識別しやすい色を使う工夫をしてある。

ウ 協議・採択

- ・ もっともバランスよく教材の配置、分量等が構成されている東京書籍の教科書を選定してはどうか。
- ・ 東京書籍もよいが日本文教出版も遜色なく、現状でもよい。採択替えにあたって十分納得できるように皆さんの意見を聞かせていただきたい。
- ・ 公民的資質の育成や正しい歴史観の習得という観点で見たときに、発達段階に応じた丁寧な学習展開を組み立てていく視点や領土問題をめぐる主権・外交面において、日本の今後の国際社会における役割は大きなテーマであると考え。主権・外交・国際社会における日本人としての公民的資質の育成の観点から正しく生徒に認識させる構成となっている東京書籍がよい。
- ・ 協議の結果、全員一致で「地理的分野」は、「東京書籍」を選定する教科書として決定。
- ・ 協議の結果、全員一致で「歴史的分野」は、「東京書籍」を選定する教科書として決定。
- ・ 協議の結果、全員一致で「公民的分野」は、「東京書籍」を選定する教科書として決定。

(4) 地図

ア 研究部長の説明

東京書籍と帝国書院の2社について研究し、報告。

イ 質疑

- ・ 地図帳を使う際には、見やすさや使いやすさが必要である。その点について、2社の違いを教えてください。
- 帝国書院の地図では、鳥瞰図・資料図によって地域全体の特色を視覚的にとらえることができる。また、写真やイラストなどを数多く掲載し、生徒の興味・関心を引き出せるように配慮されている。東京書籍は、地理的分野の資料としての側面が強い。
- ・ 学習指導要領に示す社会科の目標を達成するために、どのような編集の違いがあったか教えてください。

→ 帝国書院の地図には、地図帳の基本的な見方・使い方がわかりやすく解説されている。さらに、地図を見る上での着眼点を示したコーナーと地図から読み取る学習活動や言語活動を促すコーナーを通して、地図の読み取りなどの地理的技能が習得できるように工夫されている。

ウ 協議・採択

- ・ 見やすく使いやすいということ、グローバルな視点を培う点で日本と密接なつながりがよくわかるということ、地理的分野に限らず歴史的分野でも使いやすいという研究結果から帝国書院がよい。
- ・ 見やすさと調べやすさが最大の求められる機能であり、要素である。帝国書院は、色調が明るくて見やすく、背景には無駄な着色もなく、文字の大きさも含めて読みやすい帝国書院がよい。
- ・ 協議の結果、全員一致で「帝国書院」を選定する教科書として決定。

(5) 数学

ア 研究部長の説明

東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、数研出版、日本文教出版の7社について研究し、報告。

イ 質疑

- ・ 教科書改善の基本的な方向性に、「教科書の質・量両面での格段の充実」とあるが、数学の教科書では、どういういったことなのか教えてほしい。

→ 数学では、学習した有用感が味わえるように「実生活・実社会に関連付けられるような記述や話題・題材」が設けられている。今回の教科書は、様々なレベルの問題が豊富で、既習事項やまとめの問題が随所に配置され、生活や社会に役立つような記事が掲載されていて、各社の教科書に今まで以上の工夫や充実が見られた。

- ・ 学習指導要領による目標として「数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。」とあるが、教科の目標に照らし合わせてどのようなものであったか教えてほしい。

→ 「数学的活動」とは、生徒が目的意識をもって主体的に取り組み、数学に関わる様々な営みを意味する。さらに、法則を見出したり、利用したり、説明し伝え合ったりする方法であり、数式・図形・関数・資料の活用の4領域を横断する指導内容である。また、「楽しさやよさを実感する」とは、従前以上に情意的な側面を大切にし、数学を学ぶことへの意欲を高め、数学的活動に主体的に取り組むことができるようにすることを意味する。つまり、様々な活動を通して、数学を学ぶことを体験する機会を設け、その過程で様々な工夫や驚き、感動を味わい、数学を学ぶことの面白さ、考えることの楽しさを味わえるようにすることである。

- ・ 別冊を用意して教科書に挟み込んである出版社があったが、それに対する研究員の評価はどうか。

→ 啓林館が別冊を用意して、小冊子という形で挟み込んであり、問題集的扱いと考えた。「どのように指導していくのか」という意見も出たが、他社にはないものであり、単元の導入に使ったり、個々の理解度に応じて宿題として使うなどを確認した。

ウ 協議・採択

- ・ 生徒が必要感をもって学習したり、身近な生活でも十分利用したりすることができることに大きな意

味がある。啓林館の教科書は、生活に生かされる良さや楽しさが感じられるように工夫されている。

「Math Navi ブック」も様々な活用ができるように配慮されている。

- ・ 生徒が数学を学ぶ意欲を高めるために、「発展授業」、「伝え合う」など様々な活動や手立てが積極的に盛り込まれていること、基礎的・基本的な知識・技能の習得と今後さらに重要視される活用力についての構成がしっかりしているという点から、啓林館の教科書を選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「啓林館」を選定する教科書として決定。

(6) 理科

ア 研究部長の説明

東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の5社について研究し、報告。

イ 質疑

- ・ 生徒が使いやすい教科書という観点で5社の見本本を比較研究した感想は、どのようなものであったか。
 - 今回研究した5社の教科書については、教科の目標を十分に踏まえた構成となっている。また、印象的な写真やイラストを使い、印刷が鮮明で、字体や色づかいなどユニバーサルデザインにも配慮されていた。
- ・ 教科書に掲載されている様々な資料について、5社の見本本を比較研究しての感想はどのようなものであったか。
 - 写真やイラストについては、どの教科書も鮮明な印刷で効果的に使われている。その他に、実験器具の操作方法や注意事項、レポートの書き方、様々な科学技術の紹介など科学の有用性が実感できる読み物、発展的な学習としての自由研究等の紹介などは、どの教科書にも掲載されていた。特に読み物資料については、単に科学への興味を高めるというだけでなく「防災・減災教育」「キャリア教育」などの意図が感じられた。特徴的なものとして、東京書籍と教育出版では各学年、学校図書では2年生の教科書巻末にペーパークラフトが採用されていた。東京書籍のペーパークラフト「世界の活火山・震源分布」「温帯低気圧3D」「星座早見盤」には、地学で重要な空間認識を助けるという意図が感じられる。啓林館は、重要語句を覚えるための青いシートや別冊の「マイノート」を採用していて、重要事項をまとめることができ、問題数も充実している。東京書籍は、全単元末に「科学の本だな」を設け、幅広い科学図書を紹介している。

ウ 協議・採択

- ・ 東京書籍は、生徒が学習に対して関心を高められるように、「世界の活火山の震源分布」や「星座早見盤」などを巻末でペーパークラフトを採用したり、科学図書を幅広く紹介している点が良い。
- ・ 1分野、2分野を学習順に編集し、補充的・発展的な学習も効果的に配列し使いやすい構成となっている東京書籍の教科書を選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「東京書籍」を選定する教科書として決定。

(7) 音楽

ア 研究部長の説明

「音楽（一般）」、「音楽（器楽合奏）」について、どちらも教育出版、教育芸術社の2社について研究し、報告。

イ 質疑

- ・それぞれの教科書の特徴をもう少し詳しく教えてほしい。
→ 教育出版は、「基礎」「広がり」「活用」の3つの柱で構成されており、内容が豊富である。教育芸術社は、難易度を考慮して教材が配列され、発達段階に応じて指導できる。両社とも学習目標、教材の配列が示されているが、教材間の関連のわかりやすさに違いがある。教育芸術社は、「音楽マップ」があり、歌詞、創作、鑑賞の3つの領域の関連性が明確に示されている。共通事項を理解しやすい簡潔な言葉で言い換えているのは、教育芸術社である。
- ・音楽的活動にあたって、必要な基礎的な能力の定着を図るという点で2社の違いを教えてほしい。
→ 教育出版は、音楽記号や音楽的な要素をページの右端に大きく掲載している。また、巻末に楽典としてまとめて取り上げてあり、確認しながら学習できるようになっている。教育芸術社は、ビンゴゲーム、リズムゲームが配置され、生徒は楽しみながら音楽記号や音楽的要素を身につけることができるように工夫されている。
- ・掲載されている楽曲について、2社に違いがあるか教えてほしい。
→ 2社ともに発達段階や興味関心などの実態に応じて適切な楽曲を選定できるようにいろいろな楽曲を掲載している。

ウ 協議・採択

- ・生徒が意欲的に学び、わかりやすいというのは、教師にとっても生徒にとっても非常に大切である。教育芸術社は楽しみながら学習できるように配慮がされ、誰もが無理なく学習に参加できる。
- ・教育芸術社では、「マイボイス」「ここがわかればグレードアップ」「レッツクリエイト」を始めとしたコーナーが充実している。「マイボイス」では、発達段階に応じて姿勢から声の出し方まで示されている。「音楽学習マップ」では、音楽の三要素である歌唱、創作、鑑賞を明確に示して、それぞれの教材で何を学習するのか確認できるようにし、各領域で系統的・発展的な内容になるように配列するなど生徒の意欲を向上させるような構成の工夫が優れていると感じた。教育芸術社を選定してはどうか。
- ・協議の結果、全員一致で「音楽（一般）」は、「教育芸術社」を選定する教科書として決定。
- ・協議の結果、全員一致で「音楽（器楽合奏）」は、「教育芸術社」を選定する教科書として決定。

(8) 美術

ア 研究部長の説明

開隆堂・光村図書・日本文教出版の3社について研究し、報告。

イ 質疑

- ・小学校との関連性について、それぞれの出版社でどのように扱われているのか教えてほしい。
→ それぞれ最初のところに図画工作に関連することが記述してある。「絵の具の使い方」にも図画工作との関連の記載がある。光村図書は、図画工作でやったことを活かしている記載をしている。
- ・「あいちの教育の理念」との関連において、各出版社の記述についてもう少し内容や比較を詳しく教えてほしい。
→ 開隆堂は、「自らを高めて自他の命を大切にする」という「あいちの教育の理念」がみられた。光村図書は、「世界に視野を広げる」という基本理念において、日本の伝統文化、海外の芸術文化との比較で文化の継承者としての資質向上に資するという方向性で記述されていた。日本文教出版は、「社会の役に立つ地域とのつながり」「社会性の育成を大切にする」という基本理念において、特に現代の美術家の言葉を載せることで職業観の育成、キャリア教育の視点が示されている。

- まず、1点目に作品数の違い、制作者の言葉、特に生徒の言葉で制作意図が記載されている点において差があったら教えてほしい。2点目は、学びのねらいが観点別に示してあるのがよいか、本文中に記述してあるのがよいか、研究員の意見を教えてほしい。3点目は、「表現の学習では、発想や構想の能力と創造的な技能が調和よくやっていかないといけないが、原則として組み合わせて指導しないとけない」と指導要領に書いてある。制作手順を明記していくべきものなのか、制作途中で語りかけていくべきものなのかということについて教えてほしい。
- 1点目の作者の言葉の違いについては、日本文教出版では生徒の言葉が多かった。光村図書は、作者の言葉が特徴的だった。作品を制作するとき、生徒が高い次元で考えることができるのは、作者の言葉の方が適切であるという意見が多かった。2点目の制作手順については、始めに4観点を示している教科書が2社、ねらいを大きく示している教科書が1社である。4観点が示されている方が教師側にとって評価しやすいという意見が多かった。3点目の技能面と発想については、光村図書は技能面がまとめて記述されており、発想や構想の例示も多く、見応え、使い応えがある。
- ・ 現行の学習指導要領では、「表現」・「鑑賞」という共通事項が取り扱われている。その「表現」・「鑑賞」が、それぞれの教科書の中でどのように活かされているか。
- 3社ともバランスよく記載され、指導内容についても適切。「鑑賞」を重視しているのは、光村図書であった。実物大の図案、鮮明な印刷で立体物については手で触れているような感じのある表現になっている。
- ・ 内容面で優れている点をもう少し詳しく教えてほしい。
- 光村図書は、構想段階での発想手順が表記されており、効率よく授業を進めていくことができる。
- ・ 光村図書は、「表記」・「表現」の中で「印刷効果が優れている」「再現性が高い」という報告があったが、もう少し詳しく教えてほしい。
- 光村図書の「風神雷神図」を開けると、図版の色が他ではなかなかでない本物に近い図版となっている。鑑賞において、より多くのことを感じる可能性があるのは訴える力が強くないといけないという意味である。

ウ 協議・採択

- ・ グローバル化が進む今日の現状の中、世界に視野を広げて日本の伝統や文化を海外の美術文化と比較して、日本の伝統文化の特徴が理解しやすい構成となっている点や鑑賞作品の良さからして光村図書がよい。
- ・ 時間数が少ないから構想をしやすいう手順が示されている点がよいという説明があった。しかし創造的な技能の育成が目標に定められているのに、手順を示して時間短縮するということが美術科の目指しているものなのか。発想力を豊かにさせ、その思いを実現させるための手法が必要になってくる。そのために手法を示すということが後からついてくるものではないか。質のよさとか生徒のためになっている点、日本文教出版は生徒の作品の意図も多用しているが、より良いものに触れるという点は絶対にはずせない。なので作者の意図も重要である。より良いものを見せて、もっと本物に触れたいという思いを強くする教科書を選ばないといけない。
- ・ 3社ともそれぞれ教科目標をふまえて、生徒の興味関心を高める工夫がなされている。特に光村図書は、原寸大の図版を掲載するなど視覚的にインパクトのある紙面構成を取り入れ、実物に近い色を再現している点が生徒の学習意欲を高める。光村図書の教科書を選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「光村図書」を選定する教科書として決定。

(9) 保健体育

ア 研究部長の説明

東京書籍、大日本図書、学研教育みらい、大修館書店の4社について研究し、報告。

イ 質疑

- ・ 東京書籍と大日本図書はワイド版になっているが、ワイド版のメリット・デメリットは何か。
→ B5判の教科書と比べると、ページを開いた状態で、東京書籍は4cm、大日本図書は2cm大きくなる。そのため両社とも資料等が大きく、見やすくなっている。また、ページが自然に閉じてしまうこともなく扱いやすい。
- ・ 学習指導要領との関連で保健等の資料で学んだ知識を活かして健康な生活が送れるよう「知識を活用していく力」を育成していくことが大切である。「普段学んだことが生活にいかせる」とあったが、各社の工夫について教えてほしい。
→ 4社とも生徒の「活用力」を身につけさせるための工夫をしている。東京書籍は「いかそう」「考えてみよう」、大日本図書は「学習をいかして」、学研は「活用しよう」、大修館は「トライ」など授業で学んだことを自分の生活に活かすための工夫やヒントがある。その中でも大日本図書は、「話し合い」活動を取り入れ、授業で生徒が話し合いながら主体的に活用できるように「言語活動」を重視しているのが特徴となっている。東京書籍と大日本図書は、巻末資料が豊富であった。
- ・ 体育の授業で教科書を利用する際、どのように活用しているのか。また、どのような教科書が扱いやすいのか教えてほしい。
→ 授業の導入段階で生徒の身近なことに興味をもたせ、本時の学習のめあてをつまさせるため、生徒の興味のある導入や学習のめあてがはっきりわかる教科書が使いやすい。資料やグラフは、量よりわかりやすく見やすい教科書がよい。また、見開き2ページで1単位時間として構成されているものが使いやすく、重要語句もわかりやすく強調されていると生徒にとっても学習しやすい。

ウ 協議・採択

- ・ アクティブラーニングを意識した授業を進める上では、「話し合い活動」を取り入れることがポイントとなってくる。大日本図書の教科書は、生徒の主体的な活動を促す言語活動を重視している点が良い。
- ・ 発展資料が豊富で、生徒が自主的に学習しやすいよう構成されていること、どの教科書も多くのイラストや写真を活用しているが、特に大日本図書は、それぞれの目的や役割を効果的に使い分けており、生徒がイメージしやすく、イラスト等が文章を補うことができている。大日本図書を選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「大日本図書」を選定する教科書として決定。

(10) 技術

ア 研究部長の説明

東京書籍、教育図書、開隆堂の3社について研究し、報告。

イ 質疑

- ・ 生徒の生活を見ても携帯情報端末を自由に使うが、個々の情報モラルに問題がある。これからの成長にあたり、情報モラルや知的財産の扱いがとても大切になってくる。その点について、各教科書がどのように扱っているのか具体的に教えてほしい。
→ 学習指導要領にも「著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考える」と明記しており、各出版社とも取り扱っている。東京書籍は、ルールの羅列や禁止事項を文章化するだけ

でなく、具体的な問題場面をイラストで表し、自分たちの問題として捉えさせる工夫をしている。教育図書は情報モラルの記載内容について、用語の解説が多い。開隆堂は、情報セキュリティと情報モラルの2つの章に分け、各6ページ、合計12ページの紙面を割いて重点的に取り扱っている。また、「情報モラルリンク」マークを用いて、関連箇所をつないでいる。

- ・ 技術科の場合、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着をさせるために実習が欠かせないが、教科書として基礎・基本の習得や実習に向けて工夫があったのか教えてほしい。
 - 技術・家庭科は知識・技能の習得には、実践的・体験的な学習が欠かせない。東京書籍は、各編・各章と「基礎技能」「実習例」がページの右端のツメを色づけし、検索が簡単である。各項毎に「学習の目標」が箇条書きで記述され、チェックボックスで確認できるようになっている。教育図書は、製作物以外に多くの実験・実習の画像やイラストを掲載して、発展的な学習を深める工夫がある。
- ・ 技術・家庭科は実習を伴うため、安全面での配慮が必要である。その点はどのような配慮がなされているか教えてほしい。
 - 東京書籍は、安全に関する表記には緑に黄色の「安全マーク」と内容によっては赤に白地の「衛生マーク」というマークをつけ、枠で囲ってある。また、作業の安全が作業工程と対になって表されている。失敗しそうな場所には、「ポイント」として注意書きがある。教育図書は、実習の説明文の下に「注意」として、安全面の配慮事項を記している。開隆堂は、緑に白抜き文字で「安全」マークと共に記載してあり、よく目立つ。内容も簡潔に記入してある。

ウ 協議・採択

- ・ 現在の生徒は、コンピュータやスマートフォンを使いこなしている。情報モラルや著作権といった今日的な課題をわかりやすい写真やイラストなどを活用して、自分たちの問題として捉えさせる工夫をしている点や「安全マーク」「衛生マーク」がわかりやすいという点から東京書籍がよい。
- ・ 3社とも特徴があって、興味深い教科書である。情報モラルや実習面からすべてにおいて優れているという点で東京書籍を選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「東京書籍」を選定する教科書として決定。

(11) 家庭

ア 研究部長の説明

東京書籍、教育図書、開隆堂の3社について研究し、報告。

イ 質疑

- ・ 課題をもって生活をよりよくしようとする能力を育てるために、どのような観点で選定したのか教えてほしい。
 - 小学校での学習内容の定着度、家庭環境の個人差を考えると、多様な指導計画や指導形態を工夫していかなければならない。3社ともに基礎的・基本的事項を確実に習得し、問題解決学習を進めることができるよう多様な実習例や資料を掲載している。東京書籍は、実習や生活の中で必要な『基礎技能』がわかりやすくまとめられ、検索性が高く、基礎的・基本的な技能の定着を図るのに役立つ。教育図書や開隆堂も、それぞれ学習のはじめに課題を示し、学習の見通しが立てられるような流れを工夫している。
- ・ まず、1点目として、技術・家庭科は実習を伴うため、安全面での配慮が必要であるが、その点はどのような配慮がなされているか教えてほしい。2点目に、教科書によっては資料集と見間違えるくらい

豊富な内容で充実している。日常生活に直結するというのもあって、他の教科よりも一層教科の特性から生活に直結していくものだと思うが、授業だけでなく日常生活の中でも生徒が教科書を繰り返し活用し、有効に教科書を使うことができるという観点で生徒にとって使いやすい点をもう少し教えてほしい。

→ 1点目については、3社とも安全については配慮し工夫もなされている。東京書籍は、巻頭の「実習を楽しく安全に進めよう！」で安全意識の高揚を図り、さらに各実習における安全や衛生のポイントにマークを付してわかりやすく示され、生徒の注意を喚起している。教育図書は、マークを付したり、本文を太字にしたり、図として詳細に注意点を示したりするなどして、安全面に配慮して実習ができるよう工夫されている。開隆堂は、マークをわかりやすく配置し、作業中の事故防止や防災、衛生面について、随所に掲載されており、さらにまとまった紙面でも取り上げられ、細かく配慮がされている。2点目は、検索性が高い点で調理実習など主となる実習例に加えて、副菜となるものがそのページについており、生徒が家庭で応用できる配置がされている面でも、食の分野では使いやすく生徒が興味をもって進めていくことができる。和服については、どの会社も力を入れて和服についての説明がなされている。

ウ 協議・採択

- ・ 生徒が学びを進めていく上で大切なことは、使いやすさが一番である。学ぶ上での情報量が適度で、幅広い学習に適したものが効果的に配置されている点で東京書籍を選定してはどうか。
- ・ 安全意識の高揚面や実習の際の安全という点、とりわけ家庭科において安全衛生という面を踏まえて生徒の注意を喚起する内容を図式でわかりやすく使いやすい、さらに検索性が高いという様々な点で工夫されていることから、東京書籍の教科書を選定してはどうか。
- ・ 協議の結果、全員一致で「東京書籍」を選定する教科書として決定。

(12) 英語

ア 研究部長の説明

東京書籍、開隆堂、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書の6社について研究し、報告。

イ 質疑

- ・ 聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を培う点について、それぞれの教科書はどう配慮しているのか教えてほしい。
 - どの教科書も多様なコミュニケーション活動が展開できるように配慮されているが、コミュニケーションを支える言語材料を定着させることも同様に大切である。コミュニケーション活動の分量が多すぎる教科書、4技能のうち聞くことを中心としたやや音声重視の教科書、やや読むことに重きを置いている教科書が見られる。
- ・ グローバル化に対応した英語教育として、基礎的な言語材料の習得が土台となるが、各単元の到達目標について、新しい教科書ではどのように対応しているか教えてほしい。
 - どの教科書も、単元ごとに目標とそれに対応した評価ができる活動が工夫されている。例えば、東京書籍では、目標設定ができる「英語でできるようになったこと」リスト、すなわち、CAN-DOリストが新設されている。
- ・ 小学校の外国語活動からの円滑な接続を行うための配慮がそれぞれの教科書ではどのようになされているか教えてほしい。

→ どの教科書も、小学校で音声によるコミュニケーション能力の素地が培われてきたことを踏まえ、小学校の外国語活動で行った活動や言語材料を振り返りながら、「聞く」「話す」から「読む」「書く」への移行がスムーズに、学習段階に応じて教材が系統的・発展的に配列されている。

- それぞれの教科書に読み物教材、ショートストーリーであったり、絵本教材であったり、それぞれの会社のポリシーが表れてくるものである。東京書籍では、小学校の低学年のときに出てくるものがそのまま英文で掲載されていたが、そのあたりについて研究員の意見があれば教えてほしい。

→ 特に話題にならなかった。しかし、読み物教材の中で目を引いたのは、平和的な内容としてマララさんのこと、パラリンピックの中で佐藤さんのことが載っていた。生徒にとって魅力的なものが、多くあった。

ウ 協議・採択

- 英語のコミュニケーション能力の育成は、急務である。段階を踏んで学習できることとか、4領域に関してバランスよく効果的に配置されている点、臨場感あふれる写真やイラストが本文に効果的に配置されている点から東京書籍が関心意欲、理解の面でも工夫されている。
- 小学校に英語活動が導入されて随分経つ。幼い頃から塾に通っている子も多くいる。小学校段階で英語への関心や取り組む姿勢に大きな差ができてしまっているのが少し心配である。多少苦手な生徒でも取り組みやすい構成となっている東京書籍の教科書を選定してはどうか。
- 協議の結果、全員一致で「東京書籍」を選定する教科書として決定。

(13) 会長より採択結果の確認

- | | | | |
|----------|--------|------------|-------|
| • 国語 | 光村図書出版 | • 書写 | 教育出版 |
| • 社会（地理） | 東京書籍 | • 社会（歴史） | 東京書籍 |
| • 社会（公民） | 東京書籍 | • 地図 | 帝国書院 |
| • 数学 | 啓林館 | • 理科 | 東京書籍 |
| • 音楽（一般） | 教育芸術社 | • 音楽（器楽合奏） | 教育芸術社 |
| • 美術 | 光村図書出版 | • 保健体育 | 大日本図書 |
| • 技術分野 | 東京書籍 | • 家庭分野 | 東京書籍 |
| • 英語 | 東京書籍 | | |

5 その他

- (1) 特別支援学級の教科用図書については本協議会では扱わない。
- (2) 小学校教科用図書は27年度と同じ教科用図書を使用することを確認する。
- (3) 資料などの取り扱いに関する連絡。

6 閉会 ○ 閉会宣言